



ドキドキしようじゃないか！

この前卒業アルバムに付属するDVDの作成に関して、君たちと保護者の皆様のご承諾を得た。肖像権の問題もあるが、それ以上に、「ネット上に画像を流出させないという「ネチケット」の確認をしておきたいというのが主な趣旨である。

承諾書が全員分集まったので、合唱祭の練習風景から撮影が始まっている。昨日、体育館の練習の際、撮影機材を操作していらっしゃる方がいらしたが、あの方がみんなのDVDを撮影してくださる方である。本校の卒業生の保護者で、その手を仕事をなさっている関係から、すでにお子さんは卒業してしまっているにも関わらず、ず〜っとお手伝いしてくださっているのである。合唱祭当日は、何カ所にもマイクを設置して、数台のカメラを操作なさる。さすがプロといった感じで、きっと素晴らしい映像を記録してくださるに違いない。だから、記録される側としても、記録されるにふさわしいパフォーマンスを披露したいものである。

*

昨日の練習の際には、●●クンのおかーさんも写真を撮影してくださっていた。その際、ちょっと会話したのだが、「『手まり』がしみじみとしていい感じですね〜。声の感じも曲に合っているし、なんか35Rの生徒さんたちに合っているんじゃないませんか？」とのことであった。私もまったく同感である。

●●さんが練習に遅れて到着したが、あとで「先生、遅れて体育館の階段を登っていたら手まりが聞こえてきて、めっちゃうまくてびっくりしました！」と報告してくれた。●●さんが加われば、もっと素晴らしい発表に

なるに違いない…かな？

*

ステージの練習の合間に、テノールの男子が体育館の後ろに集まってメロディを確認していた。●●氏と●●くんに、「もっと口を大きく開けたらどうか」と伝えておいた。全般に、去年よりもずっと一体感があるし、身体全体で歌おうとする姿勢が見えて好感が持てる。しっかり指揮者を見ること、しっかり口を開けること、そして、しっかり耳を開いて周囲の鼓動に耳を澄ますこと、この基本をもう一度確認しておこう。

一詩人〜の方は、表情はあるがまだ細かな部分でリズムや音の調和が乱れたりする。最後の仕上げを今日・明日の朝にやりきろう。

*

体育館入口前芝生での練習は、校舎の窓から聞かせてもらったが、声はしっかり届いていた（それより、女子が蚊から逃げる動作の方が面白かったが…笑）。ああいう工夫をして、それをみんなで実現できるようになったことはクラスとしての大きな成長だろう。その成果が出ることを期待したい。

*

当日は、きっとドキドキするだろうが、それは、それだけ準備にかけてきたからである。しっかりやった人には、それに相応するドキドキと、それにふさわしい感動が与えられるのだ（来年、入試の結果発表の前にドキドキするに違いないが、それはそれだけ君たちが一生懸命勉強してきたことの証でもある）。

さあ、明日だ。みんなでドキドキしようじゃないか！